

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【公表番号】特表2010-502458(P2010-502458A)

【公表日】平成22年1月28日 (2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526795(P2009-526795)

【国際特許分類】

B 2 4 D 3/06 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

B 2 4 B 53/12 (2006.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

B 2 3 D 61/18 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 3/06 Z

B 2 4 D 3/00 3 2 0 B

B 2 4 D 3/00 3 3 0 D

B 2 4 B 53/12 Z

H 0 1 L 21/304 6 2 2 M

B 2 3 D 61/18

B 2 4 D 3/00 3 1 0 C

B 2 4 D 3/00 3 1 0 F

B 2 4 D 3/00 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月30日 (2010.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

研磨物品であって、

(a) 第 1 表面及び第 2 表面、並びにそれらの間の空隙を有する、金属箔と、

(b) 実質的に前記箔の前記第 1 及び第 2 表面との間の前記空隙中の複数の研磨粒子と

、

(c) 前記研磨粒子と前記箔との間に少なくとも部分的に存する合金と、を含み、

前記合金が、前記研磨粒子付近で第 2 構成要素と前記金属箔の一部を含む、研磨物品。

【請求項 2】

前記研磨粒子が超砥粒であり、任意に前記超砥粒がコーティングされている、請求項 1 に記載の研磨物品。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の第 1 層および任意に第 2 層を備える、多層研磨物品。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の第 3 層が、前記第 1 層と前記第 2 層との間に置かれている、請求項 3 に記載の研磨物品。

【請求項 5】

前記層状の研磨物品が、支持体上の目立たない (discreet) 領域に提供される、請求項

1 に記載の研磨物品。

【請求項 6】

前記目立たない (discreet) 領域が、前記支持体の対向する面上にある、請求項5 に記載の研磨物品。

【請求項 7】

前記目立たない (discreet) 領域が、のこ刃の対向する面上にある、請求項5 に記載の研磨物品。